

# 令和3年度施政方針（概要）

コロナに振り回された1年  
その中でもできることを

さて、令和2年は、新型コロナウイルス感染症に振り回された年であったと言えようかと思えます。感染拡大に伴い、3月には全国一斉の学校臨時休業にはじまり、4月には緊急事態宣言が発令され、各種会合やイベント、お祭りまでもが中止、延期を余儀なくされたほか、外出や交流の自粛などにより、日々の生活だけでなく経済活動においても多方面に極めて大きな影響が生じております。

特に、本市の基幹産業である魚類・真珠養殖においては、販売機会を失い大変厳しい状況が続いており、感染防止対策のため飲食店などをはじめとした事業者の方々にとりましてもこれまでに経験したことのない1年であったかと思えます。

本市としても国、県の施策とも連動しながら、議会や経済団体からの要望も踏まえ、市民の皆様への生命・健康を守ることを最優先に感染回避行動の徹底をお願いするなど感染防止対策に最善を尽くすとともに、各種給付金の迅速な給

付をはじめ、特に需要が低迷した養殖マダイの消費喚起、飲食店の利用促進や中小企業支援などに順次取り組んでまいりました。

## 改めて感謝とお礼

今のところ本市においては、散発的な陽性確認があったものの比較的落ち着いた状況にありますが、市民や事業者の皆様におかれましては、長期にわたり大変な不安や不便を感じられていることと存じます。これまでのお一人おひとりのご理解とご協力で心から感謝を申し上げますとともに、日常生活を維持していくために危険や不安に向き合いながらも懸命に業務に当たっていただいている、医師、看護師などの医療従事者をはじめ、運輸・物流、介護・福祉などいわゆるエッセンシャルワーカーの皆様の献身的なご尽力に対しまして、改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

未だコロナ収束の見通しは不透明ではありますが、ご案内の通り、先般、切り札とも言われているワクチンが特例承認され、現在、接種に向けての準備を進めていると

ころであります。今後とも、感染防止と地域経済の両面から対策を進めてまいりますので一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## まだまだ課題は山積

さて、我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、少子高齢化が進行する地方においては、一段と厳しい状況に陥ることも心配されております。

このような中、本市の財政状況につきましては、地方交付税をはじめとした国や県などからの財源に大きく依存する体質に変わりはありませんが、これまで進めてきたさまざまな行財政改革の成果により、特に公債費を中心とした各種財政指標においては、堅調に推移してまいりました。

しかしながら、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興は未だ道半ばであり、今後も相当の時間と費用を要することに加え、近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震をはじめ、近年、激甚化、頻発化している豪雨災害などに備えた防災・減災対策の強化、

老朽化した施設の建替えなどの大型建設事業や公共インフラの維持・整備など、先送りできない課題が山積してまいります。

## 前を向いて着実に

令和3年度当初予算においては、国の地方財政施策にこれまで以上に注意を払いながら引き続き堅実な財政運営に取り組みしていく必要があるものと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症対策については、補正予算も含めて機動的に対応してまいります。

また、豪雨災害からの復旧・復興の歩みを着実に進めるとともに、コロナ禍による人々の行動変容や昨年12月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」などを踏まえ、住民サービスの向上と行政運営の効率化を目指し、さまざまな分野でのDX、デジタルトランスフォーメーションの展開をはじめ、シティセルスの推進、宇和島市の「未来」につながる施策、先送りにするのできない諸課題に積極的に取り組むことといたしました。

# 令和3年度 施政方針(抜粋)

令和3年3月「第78回宇和島市議会定例会本会議」において市長が表明した施政方針から、おもな項目を抜粋してお知らせします。なお、施政方針全文については、市ホームページをご覧ください。



## 新型コロナウイルス感染症対策

### 感染防止対策

- ▶ 学校、福祉施設、避難所などの感染拡大防止対策の取り組みを継続
- ▶ 保険健康課内にワクチン接種推進班を設置し、医師会などとも連携して、国からのワクチン供給があり次第、円滑かつ速やかに接種が行える体制の整備
- ▶ 正確かつタイムリーな情報提供

### 中小企業者等の支援

- ▶ 融資制度、雇用維持助成金などを継続
- ▶ 売上が一定程度減少した事業者を対象に、応援給付金と家賃支援給付金を改めて支給

- ▶ 新生活様式への対応や事業の再構築、商業活性化を図る自主的な取り組みに対する補助制度を新設

### 事業者と市民生活の下支え

- ▶ 商工関係団体などとの連携のもと、地域とつながる商品券事業を再び実施

### その他

- ▶ 学校給食などでの地元産養殖魚の使用拡大
- ▶ 市民課の窓口業務のデジタル化や電子図書館システムの導入など利便性向上や接触機会の低減



# 豪雨災害からの復旧・復興

## すまいとくらしの再建

- ▶ 社会福祉協議会や宇和島NPOセンターなどと連携した丁寧な支援を継続
- ▶ 中間支援組織の協力を得て、災害が発生した場合の被災者支援体制やネットワークの構築

## 安全な地域づくり

- ▶ 被災した道路や河川、橋梁など公共土木施設並びに農地・農業用施設の復旧について、国、県、建設業協会などと緊密な連携を図り、1日も早い復旧完了に向けての取り組みを継続

## 産業・経済の復興

- ▶ かんきつ園地の再編整備について、早期成園化のための大苗生産や労働力確保の仕組み構築などへの支援
- ▶ 災害で発生した土砂を集積している吉田公園野球場について、土砂撤去後に被災施設復旧と併せて改修工事に着手
- ▶ 「えひめ南予きずな博」開催。シンボルイベントとして、地元住民の参画、連携のもと、五穀豊穰を願う「一粒萬倍 A S E E D」の舞台公演

# 戦略的なシティセールスの展開 うわじまブランド魅力化計画

昨年3月にうわじまブランド魅力化計画を策定し、ALL宇和島で魅力を発信する取り組みがスタートしました。シビックプライドの向上や、市内外の人にも魅力発信に加わってもらえるよう、さまざまな事業に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの事業が中止や延期となりました。

そのような中、需要が大きく落ち込んだ養殖マダイの消費や販路拡大に向け、市内水産会社などと連携した産地応援企画「#鯛たべよう」に取り組みました。その結果、多くの人から宇和島の生産者を応援していただき、消費拡大と宇和島の発信につなげることができました。

## 「#鯛たべよう」に続く応援企画

- ▶ 養殖の主力であるマダイとブリに加え、愛媛県真珠販売促進協議会と連携した真珠の消費拡大
- ▶ 宇和島真珠応援企画「# With Pearl」による、産地ブランドイメージの発信など、地域一体となった全国へのPR

## コロナ禍に対応したデジタルプロモーション

- ▶ 地域おこし協力隊制度を活用した地元企業のECマーケティングの推進

## 戦略的な魅力発信

- ▶ 子どもたちを対象とした郷土愛の醸成や芸術文化の振興
- ▶ 青少年市民協働センターでのキャリア教育を軸とした人材育成
- ▶ 本市の魅力を伝える動画の制作
- ▶ ロゴマーク、キャッチコピーを活用した情報発信
- ▶ うわじまアンバサダーやうわじま応援隊の活用





# DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

国や県の動きと協働しつつ、専門的知見を有する外部人材を活用して、さまざまな分野でデジタル化を推進し市民サービスの更なる向上を図ります。

## 行政手続のデジタル化

- ▶ LINEアプリでの施設予約、道路などの損傷や不法投棄の通報などの機能を拡充
- ▶ 各種申請における押印義務を見直し、順次廃止
- ▶ 令和3年度に予定している本庁舎低層棟のオープンに合わせ、窓口利用者が最も多い市民課に、オンラインでの混雑状況確認やメール配信によりお知らせする窓口案内システムを導入
- ▶ マイナンバーカードなどの読み込みによる申請書作成など手続きの簡素化と時間短縮

## デジタルによる業務効率化

- ▶ AIやRPAといったデジタル技術を活用し、業務効率化を推進
- ▶ 職員の勤務管理や各種手当の支給事務などをシステム化

- ▶ タブレットなどの導入によるペーパーレス会議の推進
- ▶ 本庁舎でのWi-Fi環境を整備

## 身近な分野へのデジタル技術の活用

- ▶ 電子図書館システムの導入
- ▶ 児童・生徒健康サポートシステムの構築
- ▶ 令和4年度からの市税、保険料、水道料金などのコンビニ収納
- ▶ スマートフォンやクレジットカードでの決済の運用開始に向けた準備

# 地域経済・雇用の未来

## 農林水産業の担い手の確保・育成

- ▶ 国の制度の活用に加え、市単独事業を積極的に推進し、更なる担い手の確保に努める
- ▶ 育成と定着についても引き続き支援

## 農林作物被害の軽減

- ▶ 狩猟免許取得費用の一部を支援
- ▶ 捕獲支援と生産者への防護柵整備などの支援

## 漁業者の事業継続支援

- ▶ 制度資金など国の支援策に加え、県や漁業関係団体と連携して融資枠の確保や償還緩和、利子補給などに取り組む
- ▶ 赤潮などの自然災害に備えるため、養殖共済への加入を促進するとともに漁業収入安定対策である「積立ぶらす」への加入を推進し、養殖経

営の安定化に取り組む

- ▶ アコヤガイへい死対策特別支援事業により、県漁協と連携して母貝の確保に向けた生産対策に取り組む

## 観光振興・移住定住支援

- ▶ 国・県の施策と連動して、宿泊事業者や飲食事業者への必要な支援を検討
- ▶ アフターコロナを見据え、8月にオープン予定の宇和島城登城口に整備している新たな観光情報センターとも連携して、県内外へ情報発信
- ▶ 津島やすらぎの里の温泉施設の早期再開に向けて検討
- ▶ 市内外の高等教育機関の卒業者や35歳未満のU・Iターン者に対して、若者定住奨励金を交付
- ▶ 35歳以上65歳未満の本市へ転入・就業する人に対して、市独自の移住・定住促進支援金を交付

# 子どもたちの未来

## 子どもたちの健康づくりを推進

- ▶ 中学生までの医療費無償化を実施
- ▶ 児童・生徒用タブレット端末を活用し、生活習慣の振り返りや健康管理などをサポートするシステムを構築

## タブレット端末の本格的な運用に向けて

- ▶ 高速大容量通信の円滑化など学校のネットワーク環境の再構築
- ▶ 子どもたち1人ひとりの資質や能力に応じた育成につながるようICT支援員の配置

## 教員の負担軽減や学校における働き方改革

- ▶ スクールソーシャルワーカーやスクールサポートスタッフ、部活動指導員の増員を図る
- ▶ 特別支援教育に携わる支援員の対象業務の拡充

## 幼稚園

- ▶ 三間認定こども園の新園舎建設
- ▶ 明倫幼稚園を放課後児童クラブとして活用するための改修

## 学校給食

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、地元養殖魚類をはじめとした地元食材をこれまで以上に使用
- ▶ 食育活動を通じて、地域の産品に対する理解や誇りを育成

## 小中学校における新型コロナウイルス感染症防止対策

- ▶ 引き続き子どもたちの安全を第一に考えつつ、学びの保障と心身の健全な成長を目指した取り組みと環境の整備

# 健康づくり・生きがいつくりの未来

## 健康・長寿のまちづくり

- ▶ 市立宇和島病院や医療系大学と連携して設置している「ヘルスケアプロジェクトチーム」において、健診データを分析し心疾患や脳梗塞のおもな原因と考えられる高血圧をターゲットにした調査研究を実施
- ▶ 「うわじまガイヤ健康体操」参加者へのアンケートから1人ひとりの状態変化をデータ化し、身体機能の改善や維持への効果を検証しさらなる参加者の増加を目指す
- ▶ 「伊達なうわじま安心ナビ」の健康モードを、毎日の生活習慣の振り返りができるように改修
- ▶ フィットネスジムと連携した保健指導を行い、生活習慣病の改善や重症化予防に取り組む
- ▶ 高齢者など家庭ごみの搬出が困難な世帯に対し、戸別収集を行うとともに安否確認などを行う「ふれあい収集事業」に取り組む

- ▶ 地域住民、民間事業者などと連携し、分野や属性・世代を問わず、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制の構築に取り組む

## 病院事業

- ▶ ウィズコロナ時代に対応したデータヘルスの基盤整備を進めるため、マイナンバーを活用したオンラインでの保険資格確認システムの導入やスマートフォン診察呼び出しアプリの活用、津島病院での電子カルテの整備を実施
- ▶ 吉田病院において、令和5年度の完成を目指し改築工事の実設計に着手
- ▶ 県および愛媛大学医学部との連携を強化するとともに、労働時間の短縮や女性医師に対する配慮など医師の働き方改革に取り組み、医師確保に努める

# そのほか重点施策

## 防災・減災

- ▶ 令和3年度完成予定の本庁舎低層棟に災害対策本部室を整備
- ▶ 災害対策本部機能の強化、充実を図るため、災害情報の収集、伝達と初動対応を迅速に行える総合防災情報管理システムを構築
- ▶ 災害拠点病院の市立宇和島病院において、非常用自家発電設備などに加え福祉避難所や備蓄倉庫などの機能を持つ(仮称) エネルギーセンター棟の整備に着手
- ▶ 市民が「自らの命は自らが守る」意識を持てるよう、自主防災組織、防災士、消防団をはじめとした地域での防災の取り組みを引き続き支援
- ▶ 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定および避難訓練支援システムの構築、避難所運営マニュアルの策定支援や防災井戸の整備
- ▶ 県が策定する立間川水系の河川整備計画の円滑な事業推進に協力するとともに、県をはじめ流

域の関係者とともに内水氾濫対策など流域治水の考え方を取り入れた対策を検討

- ▶ 市内の雨水浸水被害軽減のため排水路改修や排水ポンプ場の整備を進めるほか、老朽危険空家の除却や木造住宅の耐震化、危険なブロック塀の安全対策などの支援を継続

## そのほか

- ▶ 環太平洋大学短期大学部「さくらキャンパス」の譲渡提案について、活用方法など広く意見を聞くために検討委員会を設置するとともに、専門業者の意見も参考にしながら検討を進める
- ▶ 環境への取り組みを総合的、計画的に推進するため「宇和島市環境基本計画」を策定するほか、海洋プラスチックごみの回収や発生抑制活動の拡充、不法投棄の情報提供体制整備
- ▶ 伊達博物館改築事業について、基本計画に基づき基本設計および展示設計に着手